

山形交響楽団

庄内定期演奏会

2010.

第12回
酒田公演

12/17 (金)

◆ 19:00開演 ◆ 酒田市民会館「希望ホール」
(18:15開場)

霧につつまれた音楽

指揮：藤岡幸夫 ヴァイオリン：二村英仁

ヴォーン・ウィリアムス：トマス・タリスの主題による幻想曲

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26

ウォルトン：交響曲 第1番 変ロ短調



指揮：藤岡幸夫

ヴァイオリン：二村英仁

イギリス音楽に造詣の深い藤岡幸夫を招いての音楽会。ヴォーン・ウィリアムスでは時代を過去に遡り、当時を喚起する静謐な弦の響きを、ウォルトンでは血が滾(たぎ)るような荒ぶる野心を堪能できます。共にイギリス楽壇を牽引しようとする熱い想いが胸を打ちます。

2011.

第16回
鶴岡公演

3/11 (金)

◆ 19:00開演 ◆ 鶴岡市文化会館
(18:15開場)

スラヴの陰影

指揮：イジー・シュトルンツ チェロ：遠藤真理

スメタナ：連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」

マルティヌー：チェロ協奏曲 第1番 (1955年 改訂版)

ドヴォルザーク：交響曲 第7番 二短調 作品70



指揮：イジー・シュトルンツ

チェロ：遠藤真理

2008年3月定期公演で好演を博したイジー・シュトルンツの再登場です。前回は隣国ハンガリーの作品が主でしたが、今回は母国チェコの十八番で構成しました。マルティヌーのチェロ協奏曲はあまり有名ではありませんが、今後必ずや人気になる曲。遠藤真理の卓越した手腕が聴き所です。

それぞれ開演10分前より、出演者による
プレ・コンサート・トークを予定しております。

◆ 託児サービス

託児所を設置します(有料/要予約・公演の3日前まで)
お問合せは山響チケットサービス TEL023-625-2204まで

■ 第12回酒田公演・第16回鶴岡公演について

※会員の方には座席指定券の事前交換を開場2時間前より会場窓口にて行います。
※未就学児童の同伴入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、
あらかじめご了承ください。

ご予約・お問い合わせ

山響チケットサービス
TEL023-625-2204

(土曜・日曜・祝祭日を除くAM10:00～PM5:00まで)
E-mail ticket@yamakyo.or.jp

入場料

A席(指定)	B席(自由)	学生※(自由)	ペア(自由)
¥4,500	¥4,000	¥2,000	¥7,000

【当日券は500円増】※24歳までの学生の方 ●未就学児の入場はできません

発売場所

○鶴岡市／イケハラ楽器、ギンザ堂、鶴岡楽器、
八文字屋エビスヤ店、おんがくハウス
○酒田市／イケダ楽器、島山楽器、みずほ
八文字屋、中倉清水屋店、希望ホール
○庄内町／響ホール



平成22年度
文化庁芸術創造活動
重点支援事業



主催／(社)山形交響楽協会・山形交響楽団庄内定期演奏会酒田公演実行委員会・山形交響楽団庄内定期演奏会鶴岡公演実行委員会
後援／山形県・酒田市・鶴岡市・遊佐町・庄内町・三川町・山形県教育委員会・酒田市教育委員会・鶴岡市教育委員会・遊佐町教育委員会・庄内町教育委員会・三川町教育委員会・山形新聞・山形放送・山形テレビ・庄内日報

庄内定期演奏会

第12回 酒田公演



指揮
藤岡 幸夫

1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。指揮法を故渡邊暁雄、小林研一郎、松尾葉子に師事。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。慶応義塾大学文学部卒。英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒。日本フィル指揮研究員を経て1990年に渡英。1992年マンチェスターにて最も才能ある若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を日本人にもかわらず特例で受賞。同年ルトスワフスキ・フェスティバルにて作曲者の前で「管弦楽のための協奏曲」を指揮、英ガーディアン紙に「計りしれなく将来を約束された指揮者」と絶賛される。

1993年BBCフィルハーモニックの定期演奏会に出演、「タイムズ」紙などで高く評価され1994年に同オーケストラの副指揮者に就任。1994年にロンドンの夏恒例の名物「プロムス」に同オケを振ってデビュー、大成功を収める。以後ロイヤルフィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル、ボーンマス響、ハレ管、トゥルーズ歌劇場管、ノルウェー放送響、メルボルン響、アルスター管、ゲーブル響（スウェーデン）、スウェーデン室内管、クィーンズランド管、国立ニュージーランド響等に客演。2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場にて「ねじの回転」でスペイン・オペラにデビュー、その上演が2006年度スペインの新演出オペラのベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれた。2009年には同劇場にて「ナクソスのアリアドネ」で再客演、ふたたび大成功を収め、すぐに2014年の「蝶々夫人」の客演が決まった。

1995年より2000年までマンチェスター室内管弦楽団首席指揮者。1995年に日本フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会で日本デビュー、同年に指揮者に就任、2003年2月まで務める。2000年より関西フィルハーモニー管弦楽団正指揮者を務め、その後2007年4月より同管弦楽団の首席指揮者に就任。関西フィルとは「Meet the classic」や「ザッヒャーの遺産」シリーズなど斬新な企画で新風を巻き起こしている。英シャンドスと契約、これまでにBBCフィルとCDを7枚リリース。2002年度渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。



ヴァイオリン
二村 英仁

東京生まれ。4歳よりヴァイオリンを始める。9歳から16歳まで毎夏渡米し、ジュリアード音楽院の故ドロシー・ディレイ女史に個人教授を受けた。11歳の時に名指揮者故ユージン・オマンディー氏に激賞され将来を嘱望される。東京芸術大学附属高校を経て同大学卒業。1995年日本国際音楽コンクール優勝。1996年出光音楽賞受賞。同年より主に海外において演奏活動を開始し、欧州の重要なホールにて成功をおさめてきた。

1998年国連より日本人として初の「ユネスコ平和芸術家」に任命され、サラエボ・コンボ・パレスチナ等で演奏。2000年には「音楽にできること〜ヴァイオリニスト二村英仁〜」としてNHK総合、BS2では3夜連続の二時間番組でドキュメンタリーが放送された。その後もKDD「プロジェクト001 プラハ編」のCM、「徹子の部屋」「筑紫哲也NEWS23」「東急ジルベスターコンサート」「題名のない音楽会」「スタジオパーク」「リ・フレ」等の出演をはじめ多数のテレビ・雑誌等のメディアに取り上げられた他、NHKドラマシリーズ「夢みる葡萄」のメインテーマやエンディングテーマ等の演奏も手懸けた。その他の主なテレビ作品に「封印された旋律」（BS-i・ハイビジョン国際映画祭入賞作品）。CDはこれまでに「音楽にできること」「時空をこえて」、イギリス・ロイヤルフィルハーモニック管弦楽団との共演で「スカーレット・メロディ〜緋色の旋律」の3枚をソニークラシカルよりリリースしている。

第16回 鶴岡公演



指揮
イジー・シュトルツ

1969年、チェコのカルロヴィ・ヴァリ生まれ。ピルゼン音楽院を卒業後、プラハ芸術アカデミーにて、R.エリシュカ、F.ヴァイナルに学ぶ。アカデミー在学中にARCO室内オーケストラを創設。90〜98年、プラハ・ユースオーケストラの指揮者を務めた。ヴァイオリン奏者としても活動しながら、ロンドン、プラハ、シュトゥットガルト、米国で指揮の研鑽を積み、95年の「プラハの春」国際音楽祭指揮者コンクールで特別賞を受賞して一躍注目を集めた。

1995年よりチェコ国立ピルゼン歌劇場の首席指揮者に就任し、「メフィストフェレ」「リゴレット」「ドン・ジョヴァンニ」「サムソンとデリラ」「ルサルカ」「エフゲニー・オネーギン」、フィビヒ「シャルカ」、フェルステルの「プロウド」等を指揮。またズデニェック・ルカーシュ（チェコの現代作曲家）による「Veta za vetu」世界初演を手がけている。2003年に「蝶々夫人」「椿姫」「売られた花嫁」、2005年に「トロヴァトーレ」「カルメン」「利口な女狐の物語」のプロダクションをもって、同歌劇場を率いた日本公演を行い、東京・名古屋・大阪など各地で絶賛された。2006年シーズンには同歌劇場で「カルメン」「マノン・レスコー」「売られた花嫁」「トロヴァトーレ」を、プラハ国立歌劇場で「蝶々夫人」が予定されており、その活動はつねに注目されている。

また、オーケストラ指揮者としてのキャリアも高い評価を受けており、1996年から2000年までカルロヴィ・ヴァリ交響楽団の指揮者として活躍、その演奏はドヴォルザーク「交響曲第6番」「ジプシーの歌」のレコーディングで聴くことができる。また、プラハ・フィルをはじめ、テプリツェ、フラデツ・クラロフ、チェスケー・ブデヨヴィツェなどチェコ各地のオーケストラに客演し、東欧・ロシアの作品はもとより、ドイツ・フランスものまで多岐にわたるレパートリーを披露している。2008年3月での好演に続いての再登場。



チェロ
遠藤 真理

神奈川県出身。3歳よりチェロをはじめ。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を首席にて卒業。学内にて福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞、NTTDoCoMo賞を受賞。2003年第72回日本音楽コンクールで第1位および徳永賞を受賞、2006年「プラハの春」国際コンクールにて第3位（1位なし）、2008年エンリコ・マイナルディ国際コンクールにて第2位。

これまでに、アンサンブル金沢、大阪センチュリー、大阪フィル、神奈川フィル、札幌響、新日本フィル、東京シティフィル、東京都響、東京フィル、東響、名古屋フィル、山形響、広島響など国内の主要オーケストラに招かれ、円光寺雅彦、現田茂夫、小林研一郎、井上道義、金聖響、小松長生、飯森範親、ゲルハルト・ボッセ、ジャン・ピエール・ヴァレーズ、ルドヴィーク・モルローなど国内外で活躍する指揮者と共演。ドイツで行われたキム・ガウ春の音楽祭、神戸国際芸術祭では世界で活躍中の若手奏者を集めたアンサンブル・ラロとの共演、ザルツブルクにてザルツブルク・ソリストンとの共演など、室内楽奏者としても活躍中。2006年9月には紀尾井ホール、青葉台フィリアホールにてリサイタルデビュー。2007年はオーケストラ・アンサンブル金沢の国内ツアー、都民芸術フェスティバルに参加。2009/2010シーズンはウィーン室内管弦楽団、プラハ交響楽団との共演など、活動の幅を広げている。

2008年2枚目のソロ・アルバム「サリー・ガーデン〜チェロ・フェイヴァリッツ」、2009年には川久保賜紀、三浦友理枝とのトリオ・アルバム「RAVEL」が相次いでエイベックスよりリリースされた。これまで臼井洋治、河野文昭、山崎伸子、藤森亮一、クレメンス・ハーゲンの各氏に師事。2005年より明治安田クオリティオブライフ文化財団、2006年よりロームミュージックファンデーションの助成を得て、ザルツブルクのモーツァルテウム音楽大学に留学。2007年マギスター課程を満場一致の最高点で卒業。また同年神奈川県より文化賞未来賞受賞。2009年12月には、齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。今後の活躍が大変楽しみな若手チェリストの一人である。

遠藤真理オフィシャルウェブサイト <http://endomari.com>